

第62回ジェムストーンフェア in KOFU

● 山梨県宝石研磨工業協同組合



来場者と商談する会場風景

山梨県宝石研磨工業協同組合(水村勝理事長)は、7月5日・6日の両日、甲府市「山梨県地場産業センター」において、第62回ジェムストーンフェア in KOFUを開催した。

このフェアは、ジュエリー製品の素材となる宝石の研磨石製作者による展示会として、ジュエリーメーカーやデザイナーを対象に、年2～3回開催されてきている。今回は、組合員22社、協賛企業7社の29社が出展し、秋冬商戦に向けた新作など5万点ほどが並んだ。

ジェムストーンフェアは、同組合の組合員の販売促進を目的として、昭和55年9月の組合創立とともに、第1回研磨新作見本市を開催して以来32年間継続して開催されてきており、ジュエリー素材(研磨石)提供者の見本市として定着し、県内外から多くの業界関係者を集めている。

山梨の宝石研磨技術は、江戸時代の水晶彫刻技術が発祥とされる。この宝石研磨業界と貴金属加工業界にジュエリー製品の流通業界が一体となり、山梨のジュエリー産地が形成されている。このことから、今回もジュエリー製造の一翼を担う貴金属加工業界からも協賛出展がされた。

なお、同組合はジュエリー業界の再編に伴い、今年12月には協同組合山梨県ジュエリー協会との合併を予定しており、山梨県宝石研磨工業協同組合としての開催は今回が最後となる。合併後は、新組織が開催の継続を予定している。



テープカットをする内藤会長(右から2人目)